

平成29年度事業経過報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

I 平成29年度事業経過報告

平成29年度事業計画に基づく事業実施経過について次の通り報告いたします。

1. 労働対策事業

(1) 労働災害削減目標の達成状況

前年に引き続き、「労働災害削減目標」の達成に向け安全旗リレーをはじめとする各種取り組みを行ない、一部改善の兆しも見られたものの、目標達成には至らなかった。

	平成29年		平成28年	
	目標	実績	目標	実績
死亡災害	0件	3件	0件	1件
死傷災害（休業4日以上）	95件以下	128件	100件以下	121件

(2) 会議等

労働問題については、適正化事業推進委員会において情報共有を図り、その対策等について検討を行った。また、(公社)全日本トラック協会が開催する労働安全・衛生委員会に出席し、内容について適宜周知に努めた。

※適正化事業推進委員長並びに全ト協労働安全衛生委員は中平賢正副会長

- ① 第1回 適正化事業推進委員会（平成29年7月7日 総合研修会館）
- ② 全ト協 労働安全・衛生委員会（平成29年9月21日 全ト協）
- ③ 第2回 適正化事業推進委員会（平成29年10月13日 総合研修会館）
- ④ 第3回 適正化事業推進委員会（平成30年1月25日 総合研修会館）
- ⑤ 全ト協 労働安全・衛生委員会（平成30年2月28日 全ト協）

(3) 各種研修等の実施

① 事業者研修会

労災事故はもちろんのこと、飲酒運転を含めた交通事故防止の徹底を期す内容での開催とし県内全域で開催した。管轄警察署、労働基準監督署から講師を派遣いただき、それぞれの分野で講話をいただいた他、協会担当者が「業界の現状と課題」について説明した。

【平成29年度 事業者研修会開催状況】

地域等	開催日	参加状況	備考
中央	H30/01/24	62名(51社)	岩ト協

地域等	開催日	参加状況	備 考
路 線	H30/01/25	11名 (10社)	盛岡労働基準監督署 岩ト協
花 巻	H30/02/15	40名 (23社)	花巻労働基準監督署 花巻警察署 岩ト協
北 上	H30/02/07	32名 (30社)	花巻労働基準監督署 北上警察署 岩ト協
水 沢	H30/02/19	46名 (33社)	花巻労働基準監督署 水沢警察署 岩ト協
一 関	H30/02/02	49名 (44社)	一関労働基準監督署 一関警察署 岩ト協
大船渡	H30/01/19	29名 (27社)	大船渡労働基準監督署 大船渡警察署 岩ト協
釜 石	H30/02/20	27名 (20社)	釜石労働基準監督署 釜石警察署 岩ト協
宮 古	H30/02/10	20名 (20社)	宮古労働基準監督署 宮古警察署 岩ト協
岩 泉	H30/02/20	14名 (12社)	宮古労働基準監督署 岩泉警察署 岩ト協
久 慈	H29/12/08	31名 (30社)	二戸労働基準監督署 久慈警察署 岩ト協
二 戸	H30/01/19	28名 (26社)	二戸労働基準監督署 二戸警察署 岩ト協
合計		389名 (326社)	

② 「墜落・転落災害」防止講習の実施

我々業界において休業4日以上の死傷災害の4割を占める「墜落・転落災害」を大幅に削減することを目的として、実際のトラック車両を使用した実地講習会を「日常点検講習会」の開催と併せ実施した。座学に加え、運転席や荷台の乗り降りの際の「3点保持」や荷台での作業時の安全確保等について、参加者全員に体験いただき、あらためて正しい姿勢や注意点について確認いただいた。

(4) 各種助成制度の実施状況

① 準中型・中型・大型運転免許資格取得助成

業界におけるドライバー不足が深刻化する中、若年者を中心とした人材獲得・定着の一助として、準中型・中型及び大型自動車運転免許取得に係る費用の一部を助成した。

(87名 9,350,000円 (内25,000円全ト協負担) / 前年度実績 89名 8,362,000円)

② トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群 (SAS)スクリーニング検査に対する助成

運転者の健康障害防止のため全ト協指定検査機関である「NPO法人睡眠健康研究所」等を利用し、SASのスクリーニング検査を実施する事業者に対し、(公社)全日本トラック協会と協調しその費用の一部を助成した。

(212名 517,680円 / 前年度実績 226名 555,500円) ※29年度は全額全ト協負担。

③ フォークリフト運転技能講習、安全管理者研修受講助成

運送業務に付帯する荷役作業の効率化と安全確保に資するため、陸災防岩手県支部が実施する「フォークリフト運転技能講習」、「交通労働災害防止担当管理者教育」「荷役災害防止担当管理者教育」の受講料の一部を助成した。

● フォークリフト運転技能講習受講料助成 (62名 186,000円 / 前年度 63名 189,000円)

● 安全管理者研修受講料助成 (25名 50,000円 / 前年度 55名 110,000円)

(5) トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会（岩手運輸支局・岩手労働局）

国土交通省、厚生労働省では平成27年度から、トラック運送事業の長時間労働の抑制に向けた環境整備を進めるため、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会」を設置しており、今年度も3度の協議会が開催され、長時間労働改善等に向けたパイロット事業の実施等に関して協議を行った。

- 第7回 協議会 （平成29年11月2日 総合研修会館）
- 第8回 協議会 （平成30年2月19日 総合研修会館）
- 第9回 協議会 （平成30年3月23日 総合研修会館）

【トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会 委員名簿（順不同）】

所属等	職名	委員氏名
岩手県立大学総合政策学部	講師	宇佐美 誠 史
岩手県商工会議所連合会	事務局長	猿 川 毅
全国農業協同組合連合会岩手県本部	副本部長	照 井 勝 也
トヨタ自動車東日本（株）岩手工場	工務部工務室室長	安 西 慎 一
（株）十文字チキンカンパニー	支援部長	十文字 清 和
ハツ星運輸（株）	代表取締役	小野寺 正太郎
十久輸送（有）	代表取締役	中 平 賢 正
日本通運（株）盛岡支店	支店長	佐久間 啓 文
全日本運輸産業労働組合岩手県連合会	執行委員長	高 橋 雅 人
（公社）岩手県トラック協会	会 長	高 橋 嘉 信
岩手労働局	局 長	久古谷 敏 行
東北運輸局	局 長	永 松 健 次
東北運輸局岩手運輸支局	支局長	結 城 晃

※事務局として岩手労働局、岩手運輸支局担当官が出席した他、岩ト協 専務、事務局長もオブザーバーとして出席した。

2. 地方適正化事業

岩手県貨物自動車運送適正化事業実施本部は、貨物自動車運送事業法第39条の規定に基づき、次の事項を実施した。

(1) 事業所巡回指導

平成29年度の適正化指導員による「適正化巡回指導」は、目標400事業所に対し、436事業所となった。なお、当該パトロールは205回（昨年157回）実施した。

【巡回指導実施状況 内訳】

通常	集合 (霊柩)	Gマーク	新規	新設	前年度D・E	特別巡回	計
289	28	65	14	10	21	9	436

【霊柩事業者への指導】

霊柩事業者に対する指導を平成28年度引き続いて、本社営業所等以外の営業所を対象として集合指導を行うとともに、営業所毎に5両以上の事業所は通常の巡回指導を実施した。

実施日	場 所	参加事業者数
H30/03/06	総合研修会館（中央・久慈地域）	5
H30/03/07	一関研修会館（一関地域）	6
H30/03/08	釜石市民交流センター（大船渡・釜石地域）	2
H30/03/09	宮古市シーアリーナ（宮古・岩泉地域）	3
H30/03/13	北上研修会館（北上・水沢地域）	6
H30/03/14	総合研修会館（未実施事業所等）	3
H30/03/15	総合研修会館（ " ）	1
H29/04/20.26	その他（H28年度未実施事業所）	2
合 計		28

① 総合判定結果の集計

（単位：件）

年度	巡回件数	A	B	C	D	E	その他
平成29年度	436	132	160	74	26	5	39
平成28年度	486	153	173	53	16	5	86
平成27年度	420	163	164	68	11	7	7
平成26年度	356	124	151	63	13	3	2
平成25年度	341	120	141	68	9	2	1

※「その他」欄には、特別巡回と霊柩事業者に対する集合指導が含まれる。

② 巡回指導による改善事項ワースト10

（単位：％）

順位	事 項	未実施率 （％）
1	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	47.9
2	特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。	39.1
3	過労防止を配慮した勤務・乗務時間を定め、これを基に乗務割が作成され、休憩時間、睡眠時間のための時間が適正に管理されているか。	38.7
4	点呼の実施及びその記録・保存は適正か。	25.9
5	特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。	24.7
6	営業報告書、事業実績報告書を提出しているか（本社巡回に限る）	21.8
7	所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。	18.4
8	運行管理者に所定の研修を受けさせているか。	14.0
9	乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。	11.8

順位	事 項	未実施率 (%)
10	整備管理者に所定の研修を受けさせているか。	11.2

③ 平成29年度法令違反事業者の行政処分状況（岩手運輸支局監査による行政処分事業者数）

事業停止0件 / 車両使用停止6件 / 勧告書・警告書8件 計14件

(2) 監査体制の強化について

平成21年10月から強化された監査体制においては、労働保険・社会保険関係法令違反に対し、初違反でも車両停止処분을科すこととされており、この点については適正化巡回指導の中で加入状況調査を行い、未加入・一部未加入の結果を関係行政に報告すると共に関係法令に基づく適切な対応を要請した。

【労働保険・社会保険の加入状況の推移】

年度	労働保険	社会保険	巡回件数	労働未加入	社保未加入
平成29年度	97.5%	94.9%	396事業所	10事業所	20事業所
平成28年度	98.9%	97.1%	398事業所	6事業所	15事業所
平成27年度	99.2%	96.1%	413事業所	4事業所	22事業所
平成26年度	98.6%	93.8%	356事業所	5事業所	22事業所
平成25年度	99.7%	95.5%	341事業所	1事業所	14事業所

(3) 適正化事業指導員の資質向上のための取り組み（指導員研修等）

指導員が、適切なチェック・指導を行うためには関係法令はもちろんのこと、トラック運送業界の動向や事業経営についても理解を深める必要があることから、各種研修会に参加しスキルアップを図った。また、岩手運輸支局との定例打ち合わせや部内打ち合わせを開催し、業務知識や指導に関する事例について情報を共有するとともに、チェック項目における「適」・「否」の判定基準の平準化が図られるよう努めた。

- ① 北東北3県適正化事業指導員グループ研修（平成29年6月22日～23日 盛岡市）専務、指導員
- ② 東北ブロック適正化事業指導員研修会（平成29年11月9日～10日 盛岡市）会長、専務、指導員
- ③ 岩手運輸支局との定例打ち合わせ 3回実施（4/24、8/8、1/15）

(4) 貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会

貨物自動車運送事業適正化事業実施機関の組織・運営の公平性及び透明性を確保し、適正化事業の公正かつ着実な推進を目的として平成15年度から継続して開催しており、評議委員各位から寄せられる様々な提言は、適正化事業の更なる活性化のため重要な役割を果たしている。今年度は物流施設の視察と併せ、計2回の委員会を開催した。

- ① 第29回 評議委員会（平成29年9月26日）
※物流施設の視察を実施（ヤマト運輸（株）岩手主管支店、日本郵便（株）岩手郵便局）
- ② 第30回 評議委員会（平成30年3月20日 総合研修会館）

【岩手県貨物自動車運送適正化事業実施機関 評議員】

業 界	所 属	氏 名
学識経験者	岩手県立大学 総合政策学部 講師	宇佐美 誠 史
マスコミ関係者	(株)岩手日報社 編集局次長	藤 原 哲
荷主関係者	全国農業協同組合連合会 岩手県本部 副本部長	照 井 勝 也
労働組合関係者	全日本運輸産業労働組合連合会 岩手県連合会 執行委員長	高 橋 雅 人
一般消費者関係者	岩手県立県民生活センター 生活相談員	油 井 由起子
運送事業関係者	(公社)岩手県トラック協会 副会長	中 平 賢 正

(5) 適正化事業推進委員会

適正化事業を有効かつ円滑に実施するため適正化事業推進委員会を次の通り開催した。

- ① 第1回 適正化事業推進委員会 (平成29年7月7日 総合研修会館)
- ② 第2回 適正化事業推進委員会 (平成29年10月13日 総合研修会館)
- ③ 第3回 適正化事業推進委員会 (平成30年1月25日 総合研修会館)

(6) 研修会、セミナーの開催

① 「運行管理者実務研修会」の開催

輸送の安全確保や労働災害防止には「適切な運行指示」「的確な作業指示」が重要であることから、陸災防岩手県支部と連携し、実際に点呼を行っている運行管理者等、実務担当者を対象に、運行管理業務のポイントや改善基準告示について理解を深めた他、労災防止については、特に「墜落・転落」「転倒」災害の絶無を期して重点的に研修を行った。

【開催状況】

地域等	開催日	開催場所	参加者
中央・路線	H29/10/23	プラザあい	15名(12社)
中央・路線	H29/10/25	岩手流通輸送センター	40名(40社)
花 巻	H29/11/28	花巻研修会館	29名(25社)
北 上	H29/11/18	北上研修会館	21名(19社)
水 沢	H29/10/11	水沢研修会館	19名(18社)
一 関	H29/11/15	一関研修会館	32名(26社)
大船渡	H29/11/25	大船渡市魚市場	26名(23社)
釜 石	H29/11/20	日鉄住金物流釜石(株)	14名(10社)
宮 古	H29/12/2	シーアリーナ	21名(19社)
岩 泉	H29/12/4	岩泉町民会館	9名(7社)
久 慈	H29/10/24	小久慈公民館	34名(32社)
二 戸	H29/11/13	二戸研修会館	31名(25社)
合 計			291名(256社)

② 運行管理者試験受験対策講習会及び受験対策模擬試験の開催

毎年8月と3月の2回行われる「運行管理者試験」の合格率アップを図るため、受験予定者を対象とした「運行管理

者試験対策講習会」(講師：(株)輸送文研社 専任講師)及び「受験対策模擬試験」(講師：適正化事業指導員)を開催した。

講習会・模擬試験	実施日	会場	参加者
第1回 講習会	H29/08/04	水沢研修会館	40名 (30社)
第2回 講習会	H29/08/05	総合研修会館	73名 (45社)
第1回 模擬試験	H29/08/19	総合研修会館	79名 (52社)
第3回 講習会	H30/02/02	水沢研修会館	33名 (21社)
第4回 講習会	H30/02/03	総合研修会館	59名 (37社)
第2回 模擬試験	H30/02/24	総合研修会館	62名 (45社)

※講習会 受講者計205名 (133社) 模擬試験 参加者計141名 (97社)

③ 荷主向け物流セミナー・荷主懇談会の開催

トラック運送事業者と荷主企業各社が一堂に会し、相互理解を深めると共に、より良い関係性を構築し輸送秩序の確立に繋げることを目的として、荷主向け物流セミナーを開催した。今年度は平成30年1月13日(土)、プラザイン水沢において、元NHKアナウンサーで「ラジオ深夜便」「きょうの料理」などでお馴染み、現在はフリーアナウンサーの後藤繁榮氏を講師に招き「きょうの料理～60年の舞台裏～笑顔を引き出す会話力」と題して講演会を開催した。荷主企業27社から29名、会員事業者24社から36名が参加した他、一般市民90名が聴講に訪れた。開会に当たり、高橋会長が挨拶に立ち、ドライバー不足の現状に触れ、配達的时间指定や小ロット多頻度納品などの過剰なサービスへの対応が今後は難しくなること、また、暮らしに密接な関わりがあるトラック輸送、物流について長い目で見て考えていただきたい旨説明し、荷主企業、一般参加者らに理解と協力を求めた。

また、「長時間労働の抑制と取引環境改善」また、改正された「標準貨物自動車運送約款」の概要等について周知を図り、荷主企業に対し業界の現状と課題について理解を深めていただく場として「荷主懇談会」を以下の通り開催した。

ア) 荷主懇談会 (中央)

開催日 : 平成29年8月22日(火) 15:30~17:30

場所 : ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

参加者 : 荷主企業 15名 (12社) 会員事業者44名 (37社)

講師 : 盛岡労働基準監督署 第一方面主任監督官 渡辺 幸輝 氏
 東北運輸局 岩手運輸支局 運輸企画専門官 鈴木 良一 氏
 事例発表 三光運輸(株) 代表取締役社長 藤原 和芳 氏

イ) 荷主懇談会 (水沢)

開催日 : 平成30年1月13日(土) 15:40~16:10

場所 : プラザイン水沢

参加者 : 荷主企業 29名 (27社) 会員事業者36名 (24社)

講師 : 東北運輸局 岩手運輸支局 首席運輸企画専門官 伊藤 誠 氏

ウ) 荷主懇談会 (花巻)

開催日 : 平成30年2月15日 (木) 16:20~17:20
 場 所 : ホテルグランシェール花巻
 参加者 : 荷主企業 13名 (10社) 会員事業者40名 (23社)
 講 師 : 公正取引委員会 東北事務所 取引課長 藤 平 章 氏
 東北運輸局 岩手運輸支局 首席運輸企画専門官 伊 藤 誠 氏

エ) 荷主懇談会 (久慈)

開催日 : 平成30年2月16日 (金) 14:30~16:00
 場 所 : 久慈グランドホテル
 参加者 : 荷主企業 12名 (11社) 会員事業者34名 (31社)
 講 師 : 二戸労働基準監督署 監督課長 唐 崎 勝 氏
 東北運輸局 岩手運輸支局 首席運輸企画専門官 伊 藤 誠 氏

(7) 「貨物自動車運送事業安全性評価事業」(Gマーク)の進捗について

「全国貨物自動車運送適正化事業実施機関」では、トラック運送事業者の交通安全対策等、事業所単位での取り組みを評価し、一定基準をクリアした事業所を「安全性優良事業所」として認定する「貨物自動車運送事業安全性評価事業」を実施している。平成29年度、岩手県では77事業所(内新規16、更新61)を加えた、合計310事業所が安全性優良事業所として認定された。これは県内全体(1,003営業所)の約30.9%で、全国平均の28.9%を上回る状況となっており、今後もトラック運送事業の安全性を高めるため認定率向上に向けた取り組みを推進する。

※Gマーク認定申請に係る説明会 平成29年4月7日 総合研修会館(矢巾町) 68名(53社)

(8) 引越輸送サービス向上に関する取り組み

全ト協と共催により「引越基本講習」「引越管理者講習」を開催し引越輸送のレベルアップを図った。また「引越事業優良認定制度」については事業者の他、トラックフェスタにおいてパンフレットを配布するなど啓発活動も行った。

- ① 引越基本講習会 (平成29年9月6日 総合研修会館) 16名(10社)
- ② 引越管理者講習会 (平成29年9月7日 総合研修会館) 31名(14社)

(9) 「標準貨物自動車運送約款」改正に係る説明会の開催

トラック運送業における適正運賃・料金收受等の取引環境の改善に取り組むため、平成28年7月に設置された「トラック運送業の適正運賃・料金検討会」(平成27年度設置の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会の下部組織」)において、運賃と料金の範囲を明確化し、運賃とは別建てで料金を收受できる環境を整備する必要があるとされたことを踏まえ、平成29年11月4日「標準貨物自動車運送約款」の改正が施行された。これに伴い、会員事業者においては掲示の変更や運賃の届出等が必要になることから、遅滞なく適切な対応が図られるよう、会員事業者を対象とした標記説明会を以下の通り開催した。

【開催状況(開催日順)】

地域等	開催日	開催場所	参加者
全体	H29/09/29	総合研修会館(TV会議システム)	53名(46社)

地域等	開催日	開催場所	参加者
全体	H29/10/26	総合研修会館（TV会議システム）	33名（31社）
中央	H29/10/23	プラザあい（岩手町）	15名（12社）
中央	H29/10/25	岩手流通輸送センター協同組合	40名（40社）
花巻	H29/10/18	花巻研修会館	40名（33社）
北上	H29/11/07	北上研修会館	42名（34社）
水沢	H29/11/07	水沢研修会館	35名（30社）
一関	H29/10/18	一関研修会館	66名（54社）
大船渡	H29/10/27	大船渡魚市場多目的ホール	33名（29社）
釜石	H29/11/08	日鉄住金物流釜石（株）	14名（10社）
宮古	H29/10/18	休暇村陸中宮古	24名（22社）
久慈	H29/10/24	小久慈公民館	34名（32社）
二戸	H29/10/25	二戸研修会館	26名（25社）
合 計			455名（398社）

3. 交通安全対策事業

（1）重大交通事故削減目標と達成状況について

平成29年の重大交通事故削減目標として、①第一当事者となる事故の死者数「0」、②第一当事者となる事故の発生を「4件以内」、③飲酒・酒気帯び運転、危険ドラッグ等の薬物使用運転を「0」の3つを掲げ、各種取り組みを実施した結果、第一当事者となる死亡事故が4件発生4名の方が亡くなり、また、第一当事者となる交通事故が死亡事故を含め8件発生し5名の方が重傷を負っており、目標を達成することが出来なかった。しかし、飲酒・酒気帯び運転、危険ドラッグ等の薬物使用運転については報告もないことから達成することが出来た。この状況を踏まえ、平成30年は第一当事者となる事故の更なる減少を目標に設定しその達成に向け取り組むこととしている。

（2）会議等

交通安全対策事業の効果的な推進を目的に交通・環境委員会を開催した他、（公社）全日本トラック協会が開催する交通対策委員会に出席し、適宜内容の周知に努めた。 ※交通・環境委員長並びに全ト協交通対策委員は藤村秀一副会長

- ① 第1回 交通・環境委員会 （平成29年5月1日 総合研修会館） ※死亡事故発生に伴う緊急開催
- ② 第2回 交通・環境委員会 （平成29年7月6日 総合研修会館）
- ③ 第3回 交通・環境委員会 （平成29年10月10日 総合研修会館）
- ④ 全ト協 交通対策委員会 （平成29年9月11日 全ト協）
- ⑤ 第4回 交通・環境委員会 （平成30年1月26日 総合研修会館）
- ⑥ 全ト協 交通対策委員会 （平成30年2月16日 全ト協）

（3）春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通安全県民運動等

各種運動期間を通じて、会員事業所及びその従業員一人ひとりの交通安全意識高揚のため、更には交通安全思想の普及・浸透を図るため、次の運動を展開した。

- ① ポスター、垂れ幕の配布及び掲示。
- ② 国、県及び関係機関・団体の主催による各種交通安全運動に参加。

③ 各地域単位での巡回パトロールの実施。 ※夏及び年末は県内全域（詳細別途）、春は1支部、秋は1支部で実施。

(4) 「年末年始輸送に関する安全総点検」の実施（国土交通省主催）

（期間：平成29年12月10日～平成30年1月10日迄の32日間）

以下の各項目を重点事項として、全事業所を対象に総点検を行いその報告を求めた。

★報告率：83.3%（対象事業所 640社 報告事業所 533社）

- ① 安全管理（特に乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握、乗務員に対する指導監督体制）の実施状況
- ② 自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況
- ③ テロ防止のための警戒体制の整備状況や乗客等の安全確保のための取組、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
- ④ 新型インフルエンザ対策の実施状況

(5) 夏期安全点検パトロール

前年度に引き続き、夏期における「安全運行に対する意識の向上並びに労働災害防止の意識の向上を図る」ことを徹底することを目的に7月下旬から8月上旬にかけて、安全点検パトロールを実施した。

【夏期安全点検パトロール実施状況】

地域等	実施日	巡回件数	班	人数	備考
中央	H29/08/03	189	20	54	盛岡東警察署、盛岡西警察署、紫波警察署、盛岡監督署
路線	H29/08/03	15	2	8	
花巻	H29/08/08	71	6	10	
北上	H29/08/03	65	4	20	
水沢	H29/08/04	64	4	9	
一関	H29/08/03	68	5	20	一関警察署、千厩警察署
大船渡	H29/08/09	37	4	9	大船渡警察署、大船渡監督署
釜石	H29/08/03	29	3	7	
宮古	H29/07/26	30	3	7	
岩泉	H29/07/26	11	1	2	
久慈	H29/08/01	32	1	5	久慈警察署
二戸	H29/07/21	30	3	8	
合計		618	56	158	

【点検項目と結果】

- ・垂れ幕、ポスターが掲示されている 82.3%
- ・安全決意宣言が掲示されている 88.9%
- ・運輸安全マネジメント：掲示があり、内容が毎年見直されている 93.4%
- ・荷役作業について指導監督の指針に基づく指導教育を行っている 94.7%
- ・荷役作業の内容等を事前に確認・指示している 96.7%

- ・荷台からの飛び降り防止について指導・対策を実施している 96.1%
- ・運行管理者、整備管理者の変更届出が適切に行われている。 53.9%

(6) 年末安全点検パトロール

年末年始における交通事故防止並びに労働災害防止に資するため点検パトロールを行い、事故防止の徹底を図ることを目的とし、12月上旬に各支部において年末安全点検パトロールを実施した。

【年末安全点検パトロール実施状況】

地域等	実施日	巡回件数	班	人数	備考
中央	H29/12/05	183	20班	45名	盛岡東・盛岡西・紫波・岩手警察署、盛岡監督署、運輸支局同行
路線	H29/12/07	14	1班	9名	盛岡監督署同行
花巻	H29/12/07	71	6班	11名	花巻警察署・遠野警察署、花巻監督署同行
北上	H29/12/04	64	4班	19名	北上警察署、花巻監督署同行
水沢	H29/12/01	64	5班	9名	水沢警察署・江刺警察署、花巻監督署同行
一関	H29/12/05	71	6班	16名	一関警察署・千厩警察署、一関監督署同行
大船渡	H29/12/08	37	4班	9名	大船渡警察署、大船渡監督署同行
釜石	H29/12/07	29	3班	7名	釜石警察署、釜石監督署同行
宮古	H29/12/09	30	3班	6名	宮古警察署、宮古監督署同行
岩泉	H29/12/06	12	1班	2名	
久慈	H29/12/01	33	3班	6名	久慈警察署同行
二戸	H29/12/01	30	3班	5名	二戸警察署、二戸監督署同行
合計		638	59班	144名	

※点検結果は、点検項目のうち、掲示物や点呼の実施等は概ね実施されていた。荷役作業5大災害防止対策チェックリストの活用については、一部実施していない事業所が見受けられた。

(7) 交通事故防止・労働災害防止安全大会の開催

県内の交通事故・労働災害が大幅な多発傾向にある中、平成29年上半年期の事故の状況を改めて確認し、秋の行楽期や年末の繁忙期に向け、事故防止意識の高揚を図り、事故を未然に防止するため、平成29年8月24日、岩手県トラック協会総合研修会館（矢巾町）において、「交通事故防止・労働災害防止安全大会」を開催し、会員121名（111社）が参加した。当日は、高橋会長、岩手運輸支局の結城支局長の挨拶に続き、岩手県警察本部より交通事故防止、岩手労働局より労働災害防止に関する講話を頂戴した他、全国の交通事故の発生状況や岩手県内の交通事故及び労働災害の発生状況について、協会担当者がそれぞれ報告し情報の共有を図った。また、大会の締めくくりとして、交通・環境委員会の工藤英康副委員長が提案した「安全宣言」が満場の拍手をもって採択され、参加者全員が改めて重大交通事故・労働災害の根絶を誓い合い大会を終了した。

(8) 初任運転者に対する特別な指導教育講習の開催

「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の指針」が一部改正され、平成29年3月12日に施行された。このたびの改正においては、指導項目がこれまでの11項目から12項目に増え、指導項目の一部については実車を用いて行うこととされた他、時間もこれまでの6時間から15時間に、加えて20時間以上のトラ

ックへの添乗指導も義務付けられた。これを受け、昨年までの内容を変更し、座学による講習（7時間）について、初任運転者を対象とした集合教育講習を12回開催し実施率の向上を図った。

※講師は（一社）岩手県指定自動車教習所協会より派遣頂いている。

【初任運転者に対する特別指導教育講習実施状況】

開催日	参加者	講師
H29/05/18	53名（42社）	STモータースクール
H29/06/16	57名（44社）	水沢自動車学校
H29/07/20	35名（28社）	盛岡南ドライビングスクール
H29/08/22	30名（24社）	STモータースクール
H29/09/20	34名（24社）	陸前高田自動車学校
H29/10/25	39名（33社）	千厩自動車学校
H29/11/14	18名（13社）	遠野ドライビングスクール
H29/12/15	16名（11社）	花北モータースクール
H30/01/19	34名（28社）	北上自動車学校
H30/02/22	27名（23社）	紫波中央自動車学校
合計	343名（延べ270社）	※内女性10名

※全日程を総合研修会館（矢巾町）で実施。

※受講者 平均年齢40.7歳 最年少18歳 最年長68歳

（9）日常点検講習会

不正改造車排除強化月間に合わせ、6月に日常点検講習会を県内11カ所で開催した。毎年、大型車ディーラーから講師をお招きし開催しており、今年度は運転者を中心に351名（193社）が受講し点検技術を学んだ。また、今年度は前段に「安全運転講習」と併せ「墜落・転落事故防止講習」を実施しており、実際にトラック車両を使用して、運転席や荷台の乗降について実地講習を行い、改めて安全な乗降について啓発を図った。

【日常点検講習会 開催状況】

地域等	開催日	開催場所	参加者	担当ディーラー
中央・路線	H29/06/17	岩手流通輸送センター	36名（19社）	UDトラックス岩手（株）
花巻	H29/06/03	花巻研修会館	43名（19社）	岩手三菱ふそう自動車販売（株）
北上	H29/06/24	北上研修会館	43名（24社）	UDトラックス岩手（株）
水沢	H29/06/17	水沢研修会館	23名（10社）	岩手日野自動車（株）
一関	H29/06/03	一関研修会館	60名（23社）	岩手日野自動車（株）
大船渡	H29/06/03	シーパル大船渡	41名（23名）	UDトラックス岩手（株）
釜石	H29/06/24	日鉄住金物流釜石（株）	22名（13社）	いすゞ自動車東北（株）
宮古	H29/06/17	シートピアなあと	26名（15社）	いすゞ自動車東北（株）
岩泉	H29/06/17	岩泉町民会館	15名（11社）	岩手三菱ふそう自動車販売（株）

地域等	開催日	開催場所	参加者	担当ディーラー
久 慈	H29/06/03	いすゞ自動車東北（株）久慈営業所	23名（21社）	いすゞ自動車東北（株）久慈営業所
二 戸	H29/06/24	二戸研修会館	19名（15社）	岩手日野自動車（株）
合 計			351名（193社）	

（10）運転者安全講習会の開催

トラック運転者が正しい知識と技術を身につけると共に、事故防止意識の高揚を図るため、本年度も「運転者安全講習会」を県内3地域で開催した。

地域等	開催日	場所	参加者
北 上	H29/10/06	日本詩歌文学館	202名（39社）
岩 泉	H29/10/20	岩泉町民会館	45名（10社）
二 戸	H29/11/10	二戸研修会館	27名（16社）
合 計			274名（56社）

（11）交差点事故防止マニュアル活用セミナーの開催

全ト協との共催により「交差点事故防止マニュアル活用セミナー」を開催し、会員事業者41社から48名が参加した。「交差点事故防止マニュアル」に基づき、交差点での事故の重大性や事故の特徴と要因等について説明された後、小グループに分かれ情報交換シート等を活用しながら、各社での取り組み事例について情報交換を行った。

開催日： 平成29年10月17日

場 所： 総合研修会館

講 師： 東京海上日動コンサルティング（株）主任研究員 渡 部 真 吾 氏

（12）運輸安全マネジメントセミナーの開催

平成29年10月26日、総合研修会館大研修室において、三井住友海上火災保険（株）との共催により国土交通省認定「交差点事故防止マニュアル活用セミナー」を開催し、会員事業者95社から110名が参加した。「運輸安全マネジメント制度」のガイドラインについて中小規模事業者を主な対象として、運輸事業者における「安全管理の進め方に関するガイドライン～輸送の安全性の更なる向上に向けて～」について、参考例を交えたセミナーを行った。

開催日： 平成29年10月26日

場 所： 総合研修会館

講 師： （株）インターリスク総研 マネージャー上席コンサルタント 梶浦 勉 氏

（13）岩手県事業用自動車事故防止セミナーの開催（岩手運輸支局との共催）

岩手運輸支局・岩手県バス協会・岩手県タクシー協会と岩手県トラック協会の共催による「岩手県事業用自動車事故防止セミナー」を開催し、会員事業者から106名、全体で273名が参加した。

開催日： 平成29年11月14日

場 所： 都南文化会館キャラホール（盛岡市）

講 師： 大原記念労働科学研究所長、自動車事故調査委員会委員長歴任 渡 部 真 吾 氏

（14）第42回岩手県トラックドライバーコンテストの実施

運転技術の向上、安全運転意識の高揚を目的として、今年度も岩手県トラックドライバーコンテストを開催した。

競技	開催日	場所	参加者
学科競技	H29/07/01	県内3ヶ所（盛岡、水沢、久慈）	40名（17社）（前年：43名19社）
実科競技	H29/07/29	岩手県自動車運転免許試験場	40名（17社）（前年：42名19社）

※トレーラ部門は運転競技を実施していない。

【各部門上位入賞者】

順位	11T部門	4T部門	トレーラ部門
1位	日本通運（株）盛岡支店 工藤義樹	日本通運（株）盛岡支店 佐々木康成	日本通運（株）盛岡支店 佐々木誠
2位	岩手雪運（株） 大橋正典	東北エース物流（株）盛岡営業所 高橋和幸	西濃運輸（株）盛岡支店 田中和伸
3位	日本梱包運輸倉庫（株）北上営業所 及川貴史	西濃運輸（株）盛岡支店 島田雄也	東北自動車輸送（株）岩手営業所 金澤祐樹

※最高得点者に贈られる総合優勝（岩手県知事賞）は日本通運（株）盛岡支店 佐々木康成選手（4t部門）が受賞した。

【会長特別賞（敢闘賞）】

車両保有台数30両以下の事業者（県内本社）所属で、各部門5位までに入賞しなかった選手のうち成績が最も優秀な選手に会長特別賞（敢闘賞）を授与した。

11t部門 （株）ケイ・シー・ティー 田中力

4t部門 蒲野建設（株） 川向誠

【第49回 全国トラックドライバーコンテスト】

（公社）全日本トラック協会主催の第49回全国トラックドライバーコンテストが自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において、10月21日・22日の2日間にわたり開催された。本会からは「岩手県トラックドライバーコンテスト」各部門の上位入賞者の中から以下の選手を岩手県代表として派遣しており、各選手ともそれぞれの部門で健闘した。（女性部門は該当者なし）

【第49回全国トラックドライバーコンテスト出場選手】

部門	事業者名	選手氏名
11t部門	岩手雪運（株）	大橋正典
4t部門	日本通運（株）盛岡支店	佐々木康成
トレーラ部門	西濃運輸（株）盛岡支店	田中和伸

(15) (公社)全日本トラック協会 第57回「正しい運転・明るい輸送」運動への参加

【運動期間】平成29年11月16日～平成30年1月10日 ※平成29年度通常総会で表彰伝達の予定

- ① 「実施計画」等の配付による会員事業所への運動の周知
- ② 事業所訪問による指導（適正化指導員による指導）
- ③ 年末安全点検パトロールにおいて運動の周知
- ④ 優良従業員等の表彰推薦

ア) 従業員の部

事業者名	氏名
(有) 光正運送	齋藤 秀一
岩泉自動車運輸(株)	田代 力

イ) 事業所団体の部

事業所・団体
(有) 高陽運送

(16) (公社)全日本トラック協会 優秀運転者顕彰表彰

本制度は、(公社)全日本トラック協会が、トラック運転者の無事故・無違反歴に応じて優秀運転者の顕彰を贈呈するもので、本会を通じ103名を上申した結果、今年度は総勢93名が対象となった。

金十字章（無事故・無違反歴 20年） 66名（4社）

銀十字章（無事故・無違反歴 10年） 27名（11社）

(17) 第35回 岩手県トラック協会 交通安全コンクールの実施

消費者ニーズの多様化・複雑化に伴い、人々の生活時間帯も大幅に拡大しており、トラック運送業界では更なる輸送の安全性が求められている。一方、事故防止はトラック運送事業者にとって最大の課題であることから、会員事業者をあげて交通安全思想の普及を図り、交通事故の根絶に繋げるため、平成29年9月1日から平成30年2月末日迄の6ヶ月間を実施期間と定め標記コンクールを実施した。実施結果は以下の通り。

① 事業所表彰 8事業所（前年：9事業所）

地域等	事業所名
中央	東北鉄道運輸(株)盛岡営業所
北上	富士運輸(株)北上支店
北上	ヤクルトロジスティクス(株)岩手営業所
水沢	村上運送(有)
水沢	東奥陸送(株)岩手営業所
水沢	ロジトライ東北(株)水沢事業所
水沢	(有)ケーディーサービス
一関	(有)栄和興業

② 個人表彰 3名（前年：1名）

地域等	氏名	事業所名
水 沢	村 上 宗	村上運送（有）
水 沢	小 澤 誠	（有）ケーディーサービス
一 関	千 葉 敏 行	（有）栄和興業

（18）アルコール検知器購入助成

輸送安全規則の改正に伴い、平成23年5月から点呼時のアルコール検知器の使用と記録等が法的に義務付けられたが、本会ではこれに先立ち、平成15年度以降、会員事業者に対し検知器の使用を義務付けし、器機購入に対する助成制度を行ってきた。平成29年度においても、長距離運行の際に車両に携行させるための簡易型検知器、携帯電話を活用した検知機器、営業所設置の記録式検知器の導入について助成事業を継続実施した。

- ハンディモバイルタイプ 【 149台 585,100円 / 前年度 152台 578,300円 】
- 携帯電話活用タイプ 【 23台 600,000円 / 前年度 50台 1,032,900円 】
- 据置記録タイプ 【 31台 1,397,800円 / 前年度 25台 944,800円 】

（19）健康診断受診料助成

健康診断受診の徹底を図り、運転者の健康増進と疾病予防を促進し交通事故防止に繋げるため、健康診断受診料助成を実施した。 6,782名 20,409,100円 / 前年度 6,902名 20,680,686円 ※@3,000/名

（20）運転記録証明助成 7,595名 4,784,850円 / 前年度7,801名 4,914,630円

（21）運転者適性診断受診 受診料助成

【平成29年度 適性診断受診料助成実績】

区分	総受診者数	助成額（助成対象者数）	
		平成29年度	平成28年度
・一般診断	2,166名	4,337,800円（1,886名分）	4,347,000円（1,890名分）
・初任診断	967名	4,441,500円（945名分）	4,474,400円（952名分）
・適齢診断	178名	831,900円（177名分）	643,900円（137名分）
合計	3,311名	9,611,200円（3,008名分）	9,465,300円（2,979名分）

※上記、“（助成対象者数）”は総受診者数の内数。

（22）整備管理者講習の受講促進（岩手運輸支局実施） 881名（28年度は貨物対象講習なし）

（23）運行管理者一般講習 受講料助成 763名 2,357,624円 / 前年度 758名 2,341,592円

（24）運行管理者基礎講習受講料の助成について

運行管理体制（点呼執行体制）の強化を図るため、従業員に対し補助者選任の要件である「運行管理者等基礎講習」を受講させた事業者に対し受講料の一部を助成した。 83名 415,000円 / 前年度 105名 525,000円

(25) ドライバー等安全教育訓練促進助成

安全意識の高揚と運転技能向上等を目的として、ドライバー、運行管理者等を指定安全運転研修施設に派遣し訓練を実施する会員事業者に対して（公社）全日本トラック協会と協調し助成を行った。（中央研修所：茨城県ひたちなか市 対象） 15名 1,253,090円（内1,093,090円全ト協負担） / 前年度 12名 1,144,310円

(26) 安全広告塔の整備

県内に点在する既設の安全広告塔の整備、撤去等について、管轄地域からの情報提供、要請に基づき進めているが、平成29年度中の情報提供・撤去要請はなかった。

(27) ライトの早め点灯運動実施の取組み

ライトの早め点灯運動は、高い事故抑止効果が期待されることからこれまでも取り組んできたが、今年度も引き続き、ラジオCMによりドライバーに早め点灯の目安時間を呼びかけ運動の促進を図った。

（9月1日～翌3月31日 ラジオ放送局2局 10秒／本 合計302本放送）

(28) ドライブレコーダー等導入促進助成

（公社）全日本トラック協会との協調助成制度として、交通事故防止や安全運転指導、更には事故処理の効率化等を目的とし、事故や急加速・急減速等、一定の衝撃が生じた時に、その前後の映像や走行データ等の記録が可能なドライブレコーダー等について導入促進助成を実施した。

【平成29年度 ドライブレコーダー等助成実績】（平成29年度までの延べ助成台数7,012台）

機 器	助成額	備考
・運行管理連携型	542台 20,623,000円	（前年度 692台 26,847,000円）
・簡易型	66台 660,000円	（前年度 95台 950,000円）
・標準型	93台 930,000円	（前年度 149台 2,962,000円）
合計	701台 22,213,000円	（前年度 936台 30,759,000円）

※「運行管理連携型」助成額の内4,180,000円は全ト協負担

(29) 安全装置等導入促進助成

重大交通事故防止に効果がある、以下の安全装置の導入助成を実施した。

- ① 後方視野確認装置 150台 5,793,895円（内1,490,000円全ト協負担） / 前年度 122台 4,817,965円
- ② 吹き込み式アルコールインターロック 実績なし / 前年度 実績なし
- ③ ETC 2.0 86台 516,000円 / 前年度 3,647台 36,084,074円

(30) 可動式突入防止装置導入促進助成

ダンプ車両が荷卸しの際、突入防止装置が障害物等に接触せず容易に作業できるよう、また不正改造車両（突入防止装置未装着車）の追放を目的として、可動式突入防止装置の導入費用の一部を助成した。

12台 1,180,000円 / 前年度 29台 2,849,000円

(31) 広報活動等

事故防止の他、環境・輸送秩序確立等と併せて、新聞・ラジオ等メディアを活用し広く地域住民に業界の取組みをPRしたほか、次の事業を実施した。

① 平成29年度交通安全運動実施計画ポスター	700枚作成、配布
② 第35回交通安全コンクール実施要綱	700枚作成、配布
③ トラックドライバーコンテスト実施要綱	150部作成、配布
④ 年末点検パトロール要請書	670枚作成、配布
⑤ 各種交通安全垂れ幕（交通安全運動、正しい運転明るい輸送等）	適宜配布
⑥ 春の全国交通安全運動ポスター	650枚配布
⑦ 夏の交通事故防止県民運動ポスター	650部配布
⑧ 秋の全国交通安全運動ポスター	650枚配布
⑨ 冬の交通事故防止県民運動ポスター	650枚配布
⑩ 平成28年度運行管理者試験ポスター・案内（2回）	各650枚配布

4. 環境対策事業

業界の指針である「環境対策中期計画」に基づき、輸送の効率化、エコ・ドライブの普及促進や社会と共生し環境に優しいトラック輸送実現のため、環境負荷低減等に積極的に取り組んだほか、国の低公害車導入補助事業も活用した低公害車（HV車）の導入促進、また、EMS対応機器導入、アイドリング・ストップ支援機器導入助成、グリーン経営認証取得促進助成や、省燃費安全運転講習会の開催や今年度で9回目となるエコ・ドライブコンテストの継続開催に取り組む等、環境対策事業を次の通り実施した。

(1) 会議等

環境対策事業の効果的な推進のため交通・環境委員会を開催した他、（公社）全日本トラック協会が開催する環境対策委員会に出席し、内容について適宜周知に努めた。

- ① 第1回 交通・環境委員会（平成29年5月1日 総合研修会館） ※死亡事故発生に伴う緊急開催
- ② 第2回 交通・環境委員会（平成29年7月6日 総合研修会館）
- ③ 第3回 交通・環境委員会（平成29年10月10日 総合研修会館）
- ④ 全ト協 環境対策委員会及び小委員会（平成29年11月22日 全ト協）
- ⑤ 第4回 交通・環境委員会（平成30年1月26日 総合研修会館）
- ⑥ 全ト協 環境対策委員会及び小委員会（平成30年2月22日 全ト協） ※協会行事と重なったため欠席
※全ト協 環境対策委員は 庄子清信 副会長

(2) 省燃費・安全運転講習会の開催

「省燃費運転」を習得し、日常的に実践することで、環境保全や交通事故防止、更には経費削減に繋げる事を目的として、大型車ディーラー各社の協力を頂き、省燃費安全運転講習会を下記のとおり実施した。

（※今年で9回目となる「エコ・ドライブコンテスト」の予選会を兼ねて実施している。）

【省燃費・安全運転講習会開催状況】

地域等	年月日	場 所	参加者	講 師
中 央	H29/09/09	岩手流通輸送センター	9名(8社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
花 巻	H29/09/02	花巻研修会館	9名(6社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
北 上	H29/09/16	北上研修会館	10名(8社)	いすゞ自動車東北(株)
水 沢	H29/09/02	水沢研修会館	10名(10社)	岩手日野自動車(株)
一 関	H29/09/19	一関研修会館	10名(8社)	岩手日野自動車(株)
大船渡	H29/06/03	シーパル大船渡	41名(23社)	UDトラックス岩手(株)
釜 石	H29/06/24	日鐵住金物流釜石(株)	22名(13社)	いすゞ自動車東北(株)
宮 古	H29/06/17	シートピアなあと	26名(15社)	いすゞ自動車東北(株)
岩 泉	H29/06/17	岩泉町公民館	15名(11社)	岩手三菱ふそう自動車販売(株)
久 慈	H29/09/02	いすゞ自動車東北(株)	16名(16社)	いすゞ自動車東北(株)
二 戸	H29/09/02	二戸研修会館	5名(5社)	UDトラックス岩手(株)
合 計			173名(123社)	

※大船渡・釜石・宮古は日常点検講習会と併せて座学のみ実施。

(3) エコ・ドライブコンテストの開催

環境対策のみならず、事故防止、輸送コスト削減にも効果のあがるエコ・ドライブの推進を図ると共に、この取り組みを広く地域社会にPRしエコ・ドライブの更なる普及促進につなげることを目的に、平成29年10月14日(土)、総合研修会館において第9回目となる「エコ・ドライブコンテスト」を開催した。予選会を兼ねて各地域で実施した「省燃費・安全運転講習会」の受講者の内、成績が優秀だった24名(22社)を選手として選抜し、流通センター内の異なる2コースを周回して平均車速と平均燃費の数値により順位を決定した。当日は、大型ディーラー各社の協力のもと事故なく盛会裏に終了し上位入賞者として次の5名を表彰した。 ※参加者全員の平均燃費は8.22km/l、平均車速は30.70km/h

【第9回 エコ・ドライブコンテスト上位入賞者】

順位	事業者	氏 名	燃費 (km/l)	平均車速 (km/h)
第1位	岩手庄子運送(株)	佐藤 哲也	9.20	31.65
第2位	SBSフレイトサービス(株)宮古営業所	大原 卓二	8.74	32.03
第3位	岩手東邦運輸倉庫(株)	向井 盛博	8.60	31.52
第4位	開発運輸(株)	坂本 由人	8.52	31.36
第5位	(株)横濱工業	奥沢 琢也	8.39	32.05

(4) 最新規制適合車の導入促進

- ① ポスト新長期規制適合車の導入に係る近代化基金融資の推薦及び当該実行融資に対する利子補給を行った。
(詳細: 5. 経営改善事業 (4) 参照)
- ② 環境保全対策に貢献するため、低公害・低燃費車両の導入促進を図るため全ト協で実施する環境対応車助成事業を継続対応した。・低公害車導入助成(ハイブリッド) 【 1社1台 / 前年度 実績なし 】

(5) EMS用機器導入助成事業の実施

エコ・ドライブの推進は環境負荷低減だけではなく、コスト削減の観点からも重要度の高い取り組みとなっている。このような状況を踏まえ、エコ・ドライブを計画的かつ継続的に実施し、運行状況について客観的評価や指導を一体的に行う管理システムの更なる普及を図るため、今年度もデジタルタコグラフを中心としたEMS用機器導入に対する助成を行った。 180台 6,899,000円 / 前年度 229台 11,157,000円

(6) 環境クリーンキャンペーンの実施

今年度は10月7日（土）の実施を基本とし、各支部において「環境クリーンキャンペーン」を実施した。会員280社から計544名が参加し、日頃、利用している道路への感謝の気持ちを込めつつ、県内の主要幹線道路や国体競技会場周辺道路を清掃し汗を流した。※悪天候により2支部が中止を余儀なくされた。

【環境クリーンキャンペーン実施状況】

地域等	開催場所	実施日	参加者
中央	岩手流通センター内	H29/10/7	49名(38社)
路線	流通センター(周回道路)	H29/10/7	9名(6社)
花巻	国道4号線(花巻IC付近)	H29/9/30	77名(39社)
北上	新旧107号線(ロッキー江釣子店周辺)	H29/10/6	85名(43社)
水沢	国道4号線(水沢フラワーロード交差点)	H29/10/7	124名(37社)
一関	国道4号線(宮城県境～萩荘高梨交差点)	H29/10/7	102名(52社)
大船渡	国107号線(ローソン世田米店付近の上下線)	H29/10/7	雨天中止
釜石	国道45号線(大平～平田付近)	H29/10/7	23名(15社)
宮古	国道45号線(田老地区)	H29/10/7	雨天中止
岩泉	国道45号線、340号線等(会員各社の周辺道路)	H29/10/7	36名(12社)
久慈	国道45号線(久慈市長内町～陸中野田駅前)	H29/10/9	24名(20社)
二戸	東北自動車道 九戸IC入口周辺	H29/10/7	25名(18社)
計			554名(280社)

(7) 不正改造車排除運動並びにディーゼルクリーンキャンペーンの実施

6月に開催した「日常点検講習会」において、不正改造防止パンフレットを配布し、運動について周知を図った。また、9月・10月には「ディーゼルクリーンキャンペーン」を展開し、エアクリーナーの自主点検を集中的に実施した。
(440社 7,452台点検実施)

(8) アイドリング・ストップ支援機器導入助成の実施

アイドリング・ストップを支援し、エコ・ドライブのより効果的な実践に繋げるため、協会が認定した支援機器の導入費用の一部を助成した。(助成額合計 2,680,000円 / 前年度 6,911,900円)

【アイドリング・ストップ支援機器導入助成実施状況】

機 器	助成額		備 考	
蓄熱マット・電気毛布	24 枚	240,000 円	(前年度 44 枚	440,000 円)
蓄熱ヒーター・畜冷クーラー	4 台	160,000 円	(前年度 6 台	240,000 円)
燃焼式エアヒーター	29 台	1,740,000 円	(前年度 36 台	4,191,900 円)
車載バッテリー式冷房装置	9 台	540,000 円	(前年度 19 台	2,040,000 円)

※燃焼式エアヒーター 記載額の内 640,000円が全ト協負担

※車載バッテリー式冷房装置 記載額の内 120,000円が全ト協負担

※燃焼式エアヒーター、車載バッテリー式冷房装置の助成単価が28年度120千円から29年度60千円に減額となっている。

(9) グリーン経営認証制度の促進

グリーン経営の普及を促進するため、新規認証取得及び更新に係る費用の一部を助成した。

(新規 2件 200,000円 更新13件 480,000円 / 前年度 新規 3件 300,000円 更新18件 798,000円)

(10) ポスターの配布等

- ディーゼルクリーンキャンペーンのパンフレット 650 枚
- 不正改造防止等点検整備推進運動ポスター (岩手運輸支局) 650 枚

5. 経営改善対策事業

(1) 会議等

中小企業対策・経営改善に関する事項は「総務委員会」が担当することとしており、経営改善事業に関する事項について、総務委員会の中で協議を行った。また、(公社)全日本トラック協会が開催する「経営改善・情報化委員会」に出席し機会を捉えて内容の周知に努めた。 ※総務委員長並びに全ト協経営改善・情報化委員は阿部祐二副会長

- ① 第1回 総務委員会 ※役員選考 (平成29年5月17日 総合研修会館)
- ② 第2回 総務委員会 (平成29年7月18日 総合研修会館)
- ③ 全ト協 経営改善・情報化委員会 (平成29年7月20日 全ト協)
- ④ 第3回 総務委員会 (平成29年10月17日 総合研修会館)
- ⑤ 第4回 総務委員会 (平成30年1月24日 総合研修会館)
- ⑥ 全ト協 経営改善・情報化委員会 (平成30年2月23日 全ト協)

(2) 研修事業・セミナーの開催 (人材育成)

① 「平成29年度トラック運送業における生産性向上セミナー」

取引環境の改善やトラックドライバーの労働時間短縮、労務負担の軽減等、業界の喫緊の課題を克服するため、国土交通省において作成された各種手引書をもとに学ぶセミナーを開催した。

開催日時： 平成29年10月24日(火) 13:30~16:20

開催場所： 総合研修会館 大研修室

参加者： 41名(36社)

講師： 国土交通省東北運輸局 自動車交通部 貨物課 専門官 渡辺康治氏

- ・ (株) 富士通総研 ビジネスアナリティクスグループ
シニアマネジングコンサルタント 亀廻井 千鶴子 氏

その他 (公社) 全日本トラック協会との主催、国土交通省東北運輸局との共催

② 経営者セミナー

目まぐるしく変化する経営環境の中で、事業経営者に有益な情報、話題等を適宜提供し、事業経営の活性化、トラック運送業界全体のレベルアップに繋げるため、経営者セミナーを開催した。

【経営者セミナー開催状況】

開催日	演題・講師	参加者	備考
H29/11/21	演題：経営者が知っておきたい健康の常識 ～心疾患・脳疾患から従業員を守るために～ 講師：福田 千 晶 (医学博士・健康科学アドバイザー)	209 名	※70周年 記念講演
H30/01/17	演題：新しい歴史の見方 講師：井 沢 元 彦 (歴史小説作家)	112 名	※新春講演会
H30/01/19	演題：しばコラばなし 講師：柴 柳 二 郎 (テレビ岩手報道制作局長)	27 名	※二戸
H30/01/24	演題：甲子園の負け方教えます 講師：澤 田 真 一 (盛岡大学付属高校教頭)	65 名	※中央
H30/02/02	演題：伊達騒動、そして芦東山 講師：細 井 計 (岩手大学名誉教授、文学博士)	94 名	※一関
H30/02/16	演題：勝ち残る企業を目指す経営者のための「働き方改革」実務対応セミナー 講師：水 野 光 博 (三井住友海上経営塾「トセンター」)	38 名	※久慈

③ 若手経営者、後継者、従業員等の育成に関する事業

今年度も、本会の会員事業者に所属する 50 歳までの若手経営者、後継者、管理職等により構成される「岩手県トラック協会青年経営研究会」と連携し、若手経営者等を対象とする人材育成研修事業を実施した他、(公社) 全日本トラック協会が主催する若手経営者・後継者を対象とした各種研修会に参加した。また内閣が「すべての女性が輝く社会づくり」を推進する中、業界における女性従業員の資質向上・活性化に向け研修会を実施した。

ア) 人材育成研修会 (青年経営研究会)

開催日	演 題	講 師	参加者
H29/06/08	プロドライバーを育てる3つのルール	酒 井 誠 氏 (株) ナルキュウ 代表取締役	44 名 (43 社)
H30/02/07	指導員から直接聞く!! 巡回指導のポイントと解説	大 野 一 樹 氏 岩手県貨物自動車運送 適正化事業実施機関 指導員	73 名 (71 社)

イ) 視察研修の実施 (平成 30 年 3 月 28 日～29 日) 会員 8 名 (8 社) 参加

- ・ (株) 富士通交通・道路データサービス 視察
「データを活用した安全運行対策への取り組み」
講師：同社 代表取締役社長 島 田 孝 司 氏
「最新ネットワークデジタコによる運行管理システムについて」
講師：(株) トランストロン 情報サービス営業部 部長 加 藤 泰 司 氏
- ・ (一社) 神奈川県トラック協会 青年部会との交流会

ウ) (公社) 全日本トラック協会青年部会 東北ブロック大会

平成 29 年 10 月 19 日 ホテル紫苑 会員 32 名 (32 社) 参加

パネルトーク「岩手でトラトーク!!」

コメンテーター：(株) コヤマ経営 代表取締役 小 山 雅 敬 氏

パネリスト：6 名 (東北各県より 1 名ずつ)

エ) (公社) 全日本トラック協会青年部会 全国大会

平成 30 年 2 月 22 日 京王プラザホテル 会員 11 名 (11 社) 参加

・青年部会活動報告

・パネルディスカッション

テーマ：「働き方改革と生産性向上について ～長時間労働抑制に向けて～」

コーディネーター：日本 PMI コンサルティング (株) 代表取締役社長 小 坂 真 弘 氏

オ) (公社) 全日本トラック協会 青年部会 全国代表者協議会・研修会への出席

全ト協青年部会が主催する「全国代表者協議会・研修会」について、「岩手県トラック協会青年経営研究会」に出席を要請した。

- 第 1 回 全国代表者協議会・研修会 (平成 29 年 6 月 17 日) 青研 山崎副会長 出席
- 第 2 回 全国代表者協議会・研修会 (平成 29 年 11 月 8 日) 青研 岩淵会長 出席
- 第 3 回 全国代表者協議会・研修会 (平成 30 年 2 月 21 日) 青研 岩淵会長 出席

カ) 女性社員研修会

平成 29 年 10 月 13 日 ベリーノホテル一関 会員 49 名 (28 社) 参加

- 「自分を活かすメイク術」～モチベーションを上げるために～

講師：魅力屋ラルチェ 代表 美塾講師 佐々木 承 子

(3) 中小企業大学校講座受講促進助成制度

中小企業大学校 (仙台校) が実施する経営者、管理者を対象とする各講座を受講した会員に対し、(公社) 全日本トラック協会と協調して受講料の一部を助成した。(受講料の 2/3)

(4 講座 6 名、助成額 80,200 円 (内 40,400 円全ト協負担 / 前年実績 8 講座 14 名 助成額 219,800 円)

(4) 近代化基金融資に係る利子補給事業

トラック運送事業の近代化・効率化を目的として、近代化基金融資の推薦並びに当該実行融資に係る利子補給事業を実施した。実施状況は下表の通り。

【融資実行状況及び利子補給額】 ※利子補給額は全ト協助成分を除いて記載

融資制度	H29 年度 融資推薦		備 考	利子補給額 (円)
	実行額/融資枠 (円)	件数		
一般融資	78,972,000 / 200,000,000	4	車両 3 両、物流設備 1 件	1,308,037
一般特例 (省エネ関連)	0 / 2,000,000	0		0

融資制度	H29年度 融資推薦		備考	利子補給額(円)
	実行額/融資枠 (円)	件数		
ポスト新長期	634,452,000 / 873,000,000	42	車両49両	6,345,390
合計	713,424,000 / 1,075,000,000	46	車両52両、物流設備1件	7,653,427

【中央近代化基金融資制度 推薦額】

融資制度	H29年度 融資推薦		備考
	推薦額 (円)	件数	
補完融資	0	0	
調整融資	0	0	
燃料費対策特別融資	72,854,000	3	車両4両
合計	72,854,000	3	車両4両

6. 広報事業

(1) 会議等

事業の効果的な推進のため、その検討の場として広報委員会を開催した他、(公社)全日本トラック協会が開催する担当者会議等に出席し、先進的な事例や効果的な活動等について全国の協会との情報交換を図った。

※広報委員長は庄子清信副会長 / 全ト協広報委員は高橋嘉信会長(東北ブロック代表)

- ① 第1回 広報委員会 (平成29年7月11日 総合研修会館)
- ② 全ト協 広報業務担当者会議 (平成29年7月20日 宮城県仙台市)
- ③ 全ト協 広報委員会 (平成29年8月2日 全ト協)
- ④ 全ト協 広報委員会 (平成29年10月7日 栃木県宇都宮市) ※栃木ト協のイベント視察
- ⑤ 第2回 広報委員会 (平成29年10月16日 総合研修会館)
- ⑥ 第3回 広報委員会 (平成30年1月23日 総合研修会館)
- ⑦ 全ト協 広報委員会 (平成30年2月7日 全ト協)
- ⑧ 全ト協 広報業務担当者会議 (平成30年2月14日 全ト協)

(2) 「10月9日トラックの日」広報事業

平成4年、毎年10月9日を「トラックの日」と制定して以来、全日本トラック協会並びに全国の都道府県トラック協会では、トラック運送業界の社会的地位向上を目指し各種PR事業を展開している。本会では今年も「私の街にこんなトラックあったらいいな」絵画コンクール、イベント「トラックフェスタ」を事業の柱として位置付け、広報委員会、青年経営研究会と連携しつつ事業を実施した。

① 「トラックの日」事業打ち合わせ会の開催

「トラックの日」事業の推進に当たり、岩手県トラック協会青年経営研究会の役員による事業打ち合わせ会を開催し、絵画コンクール、イベントの運営等について検討いただいた。

- 第1回 平成29年5月15日 総合研修会館
- 第2回 平成29年8月8日 総合研修会館
- 第3回 平成29年11月27日 総合研修会館

② 第24回「私の街にこんなトラックあったらいいな」絵画コンクールの実施

県内の小学生を対象に広く絵画を募集した標記コンクールには116校から800点の応募があり、9月5日、総合研修会館において厳正な審査を行い、最優秀賞（1点）、優秀賞（5点）、5きげんテレビ賞（1点）、大型ディーラー特別賞（4点）、協会賞（10点）、佳作（15点）、努力賞（20点）、合計56点の入選作品を決定した。

表彰式は9月24日（日）、大船渡市で開催した「トラックフェスタ2017 in 大船渡」の中で行い、高橋会長から入賞者に対し表彰状と副賞が授与された。また、上位6作品を使用した平成30年のカレンダーを制作し、会員事業者、県内の小学校、関係機関等に配布した。

【第24回 私の街に『こんなトラックあったらいいな』絵画コンクール 上位入賞者】

No.	賞	氏名	学年	性別	作品名
1	最優秀賞	神山 ひなた	4	女	岩手のうためぐりトラック
2	優秀賞	佐藤 翼	6	男	日本のお祭りトラック
3	優秀賞	坂井 瑞希	6	女	『『岩手』を全国へ』トラック
4	優秀賞	関 大輔	5	男	岩手の魅力、伝えようトラック
5	優秀賞	今泉 柊裕	3	男	まるごとさけトラック
6	優秀賞	水上 武	2	男	くじらのいどうしき水ぞくかん

③ イベント「トラックフェスタ2017 in 大船渡」の開催

大船渡市をはじめとする関係行政、団体の他、大船渡支部管内の会員事業者、青年経営研究会メンバー等、多くの方々の支援・協力をいただき、平成29年9月24日（日）、（株）マイヤ共同配送センター敷地内（大船渡市大船渡町）に設置した特設会場において「トラックフェスタ2017 in 大船渡」を開催した。当日は、朝から好天に恵まれ、開催地域である大船渡市、住田町、陸前高田市等を中心に約2,200名を超える来場者で賑わい、盛会裏に終了することが出来た。会場内には多数のトラック車両を展示した他、体験乗車を初めとする各種アトラクションや大型ビジョンによるCMの放映など、来場者の方々に対し緑ナンバートラックの公益性や重要性について十分にPRできる場となった。また、今年は、「初任運転者特別教育」の実施等でご協力を頂いている、岩手県指定教習所協会のブースを設置した他、大型ディーラー各社による最新型トラックのプレゼンテーションを実施し、これまでと一味違った角度から業界を見ていただくことが出来た。

【車輛展示】

- ディーラー4社提供車両 （大型ウィング×3台、大型シャシー）
- 会員事業者提供車両 （橋梁点検車、セルフローダー、バルク車）

【アトラクション】

- ・ 絵画コンクール受賞作品展示 ・ 絵画コンクール表彰式
- ・ 体験乗車（トラクタヘッド、高所作業車、フォークリフト）
- ・ 運転席試乗&死角体験 ・ 輸送戦隊「ハコブンジャー」ショー
- ・ トラックこども綱引き ・ ふわふわエアートランポリン
- ・ オリジナル風船プレゼント ・ クイズラリー
- ・ オリジナルトラック型貯金箱制作体験
- ・ こども安全免許証発行 ・ 運転操作体験検査
- ・ パトカー&白バイと記念撮影 ・ 運転適性診断

- ・準中型免許の周知 ・ビジョンカー放映（岩ト協 CM 等）
- ・食の振る舞い（サンマ焼き&ホタテ焼き） ・もちまき
- ・芸能アトラクション（太鼓：氷上共鳴会、チンドン：寺町一座）
- ・物販コーナー

（3）メディアを活用した広報事業

① テレビによる広報

（ア）CM：アニメ「もしもトラックが止まったら（6種）」、「ハコブンジャーリズム体操編」の放映

トラック輸送と日々の暮らしとの密接な関わりについて、やわらかく親しみやすいタッチで地域住民に理解を求めるため、アニメCM素材（6種）を通年で放映した。なお、このCMは例年イベント内で実施するアンケート調査においても、各年代を通じ高い割合で認知されているとの結果が出ている他、会員事業者、関係各方面からも好評を得ている。また、本会の人気キャラクター「輸送戦隊ハコブンジャー」を活用して、イベントでの子供向けコンテンツに結びつけつつ更なるPRを図るため、昨年度新たに制作したCM「ハコブンジャーリズム体操編」も併せて放送した。

（放映期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日 県内民放4社 60秒/本×198本 ※うち、25%が「リズム体操編」の放送）

（イ）CM：「トラックの日」（ハコブンジャー編）

国内物流の基幹産業であるトラック輸送が、本当は身近で重要な存在であることを、地域住民の方々に考えていただくきっかけづくりを目的として、10月9日「トラックの日」の広報事業を実施しているが、その一環として、本会の人気キャラクター「輸送戦隊ハコブンジャー」を活用した「トラックの日」啓発CM素材を5日間限定で放映した。（放映期間：平成29年10月5日～9日 県内民放4社 15秒×68本）

② ラジオによる広報

（ア）ラジオCM（事故防止）の放送

高齢ドライバーを中心としたセンターラインオーバーに起因する会員事業者が第2当事者となる事故。この注意喚起を図るため、「対向車線へのはみ出し防止」をメインテーマとし、時節ごとの注意ポイントの啓発を狙いラジオCMを通年で放送した。また、ドライバー等の「墜落・転落」をはじめとした労災事故を削減することを目的に、荷台への乗り降りには「昇降設備を正しく使用する」ことについても併せて啓発を図った。

（放送期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日 県内民放2社 20秒×420本 ※交通60%：労災40%）

（イ）ラジオCM（ライトの早め点灯啓発）の放送

これまでも継続的に取り組んできた「ライトの早め点灯」の更なる浸透を図り、薄暮時間帯の事故削減につなげるため、夕方の日没時間帯（午後4時頃 ※12月～1月は午後3時頃）にライトの点灯を促すCMを放送した。（放送期間：平成29年9月1日～平成30年3月31日 県内民放2社 10秒×302本）

③ 新聞による広報

広報委員会では「業界の主張を前面に押し出すPRではなくトラック輸送と日々の暮らしとの密接な関わりや、存在の重要性についてやわらかいタッチで伝える」という方針を打ち出しこれを継続している。

今年度は、当協会「創立70周年」の慶事と合わせ更なるPR効果を図るため、式典当日の11月21日に県内紙

の朝刊紙面に広告を掲載すると共に、式典出席者に対し掲載紙を配布し併せてPRした。内容については、最初の掲載以降、好評を博している『『届けてくれてありがとう』あなたの笑顔で明日も頑張る！』編をベースに、創立70周年ロゴマークを配し、掲載した。（掲載日：平成29年11月21日 岩手日報、岩手日日 全15段）

（4）メディア懇談会の開催

平成30年2月22日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、15回目となるメディア懇談会を開催した。この事業はトラック運送業界が抱える多くの課題とそれに対する取り組みについて、社会的影響力の大きいメディア関係者に対し、正しい理解と協力を求める場として継続しており、当日は県内メディア関係者30名（9社）、協会関係者15名が参加した他、（公社）秋田県トラック協会 会長等3名がオブザーバーとして出席した。

今回の懇談会では主にトラック運送業界における「人材不足」や「取引環境・労働改善」のあらましについて説明し、ドライバー就業者の年齢構成等踏まえ、今後の労働環境のあり方や荷主の理解と協力が必要であることを訴えた。なおメディア各社の取材スタッフも多数来場し、懇談会の模様が新聞、テレビ等でニュースとして報道された。

（5）業界内部に向けた情報発信・啓発行動

会報「岩手県トラック情報」を年5回（助成制度特集号を含む）発行し、協会事業の進捗状況や関係法令の改正等、会員事業者にとって有益な情報を掲載し周知を図っている。

危険運転や悪質マナーなど協会に寄せられる苦情については、「岩手県適正化事業実施機関」と連携し、事実確認の上、改善指導を行っている他、会員事業者の関係する重大交通事故や労働災害の発生状況と併せて「岩手県トラック情報」にも掲載し、広く会員事業者に対し周知を図り同種の事案の再発防止に努めている。

（6）その他の広報活動

業界PRの他、地域貢献の観点から、関係団体や県内メディア各社の実施する各種キャンペーン等について、交通事故防止企画など協会事業の方向性と合致するものについて機会を捉えて協賛した。（全35企画）また、外部団体等からの要請に応じ、以下のPR行動も実施した。

- 岩手県立大学での物流講義

平成29年6月22日、岩手県立大学において、同大学総合政策学部の現役大学生を対象に物流に関する講義を行った。始めに、トラック運送業界の現状と課題について講義を行った後、岩手県内を効率的に配送するための拠点配置やルート構築について、6班編成でのグループ討議を行った。全90分という短い間ではあったが熱心に取り組んでいただき、トラック輸送や物流について興味を持ったとの意見が多く聞かれた。（学生参加者38名）

- 自衛隊岩手駐屯地での業界PR

平成30年2月19日、自衛隊岩手地方協力本部からの要請に応じ、任期制隊員（2年を1任期として所属する若年層の隊員）に対する民間再就職教育の一環として、トラック運送業界のあらましとドライバーの仕事について説明・PRした。（自衛隊参加者16名）

7. 緊急物資輸送及び体制整備等に関する事業

（1）岩手県総合防災訓練への参加

平成29年8月25日、26日に岩手県、盛岡市、紫波町、矢巾町、盛岡地区広域消防組合消防本部の主催により、平成29年度岩手県総合防災訓練が実施され、97機関から約1万人、本会からは中央支部の協力を得て総勢6名（本部3名、中央

3名)とトラック車両(2t車)2台が参加した。今回は、台風による大雨で土砂災害や河川のはん濫による浸水害等が発生する想定の中、東日本大震災津波及び熊本地震、台風10号等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」「共助」「公助」の災害対応の総合力の強化を図ることを目的として実施された。本会においては、消防学校から盛岡南高校へと支援物資を運ぶ「物資輸送訓練」。そして、高校生ボランティア40名と共に次の避難所へ向け、仕分け積み降ろし等の「支援物資集積所開設訓練」を実施した。

※なお、訓練参加に当たっては事前に「参加機関打合せ」が以下の通り開催され事務局が対応している。

・5/23第1回、6/26第2回、7/18第3回、8/8第4回 (いずれも岩手県水産会館にて)

※東北運輸局による「各県トラック協会」との情報伝達訓練

平成29年9月1日、福島県沖を震源とした地震が発生したとの想定で、防災メールでの緊急連絡体制の確認が主たる内容の緊急通信訓練が実施された。

(2) 緊急時の体制整備及び維持

県内各地(支部事務所等)に配備を行った小型発電機と衛星電話は、有効保持が必要不可欠で有ることから、防災の日(9月1日)に通信テスト及び稼働テストを実施しこれを確認した。また、有事に際し遅滞なく緊急物資輸送の運営体制(対策本部)を構築すると共に、ライフラインが寸断された状況下においても、当面の間その運営を維持するため、防災用品、備蓄用の飲料水・食糧等を総合研修会館並びに支部事務所等に配備している。

【Em-Net(緊急情報ネットワークシステム)】

国民保護行政においては関係法に基づき、官邸から関係機関に対し警報の通知や避難措置の指示など、緊急に伝達すべき情報をEm-Net(緊急情報ネットワークシステム)により伝達することとしているが、岩手県を通じて内閣官房及び消防庁からシステム導入の要請があり、平成28年3月にシステムを導入し、以後、毎月1度の導通試験を継続しており、引き続きシステムの有効保持を図るものとする。

(3) 緊急支援物資輸送の実施

平成29年度も、西日本を中心に自然災害による被害が多発したが、本会としての緊急物資輸送の実績はなかった。

8. 出捐金の拠出

本年度は運輸事業振興助成交付金の24.6%を出捐金として(公社)全日本トラック協会に拠出した。なお、この出捐金は同協会が実施する運輸事業の振興に係る事業の内、「公益目的事業」として位置付けられた事業に全額充てられている。《「運輸事業の振興の助成に関する法律第三条第一項の事業を定める政令」(平成二十三年九月二十六日政令第三百号)の第八項による》(平成29年度 出捐金額 73,313,000円)

9. 東北六県トラック協会連合会 事業者大会 (岩手大会)

平成29年9月12日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(盛岡市)において、東北六県トラック協会連合会事業者大会が開催され、東北全域から約200名(本会からは53名)が参加した。南部美人(株)五代目蔵元であり代表取締役の久慈浩介氏が「南部美人が世界のSAKEとなるまでの戦略」と題して講演し、世界をターゲットに戦略を展開しつつ世界的コンテストでチャンピオンとなったことに触れ、先代から受け継いだ信頼と信用と伝統の技術を大切にしながら、新たなことに挑戦し、それを進化させること。そして、息子にちゃんと胸を張って「継いでくれ」と言え

るかどうか常に考えていると述べた。また、青森、秋田、宮城の代表が「人材確保」をテーマとし、それぞれ意見発表を行った。更には「取引環境の改善及び長時間労働の抑制並びに生産性の向上を図ろう」や「人材確保対策並びに新技術活用の物流の効率化を推進しよう」など合計8つのスローガンを含む大会決議（案）を本会の阿部祐二副会長が提案し、満場一致で採択し大会を終了した。

10. 全ト協 第22回全国トラック運送事業者大会（宮城大会）

（公社）全日本トラック協会が主催する第22回全国トラック運送事業者大会が、平成29年10月3日、宮城県仙台市「仙台国際センター」で開催され、全国から約1,400名（本会からは43名）が参加した。業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、山積する課題に対応するため「健康起因事故等交通事故防止対策の推進について」「労働環境の改善と生産性向上方策について」の二つのテーマで分科会を開催、パネルディスカッションを行った。前者のテーマにおいては、当協会会員 北上運輸（株）の荒川取締役統括部長がパネラーとして登壇し、自社での取り組みの結果「お客様に選ばれる企業」へと前進したことなどを発表したほか、「再生へ 心ひとつに～震災報道の現場から～」と題し、河北新報社 代表取締役社長の一力雅彦氏が記念講演を行った。なお、大会の結びとして10項目の大会決議を満場一致で採択し、参加者全員で「ガンパローコール」を行い閉幕した。

11. （公社）岩手県トラック協会 創立70周年記念行事の開催

平成29年11月21日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて、会員事業者の他、多数のご来賓にもご臨席いただき、総勢240名で創立70周年記念行事を開催した。第1部の記念講演会では講師として福田千晶氏（医学博士・健康アドバイザー）を迎え、「経営者が知っておきたい健康の常識」～心疾患、脳疾患から従業員を守るために～と題し講演いただいた。また、第2部の記念式典では、会長の式辞に続いて、過去10年間、本会の運営に対し特に貢献が顕著と認められた3名の方に感謝状を贈呈した後、来賓を代表し尾関良夫東北運輸局長、達増拓也岩手県知事など、計4名の方々よりご祝辞を頂戴した。第3部の祝賀会は、会長、来賓など総勢15名による鏡開きで祝宴がスタートし、アトラクションの鹿踊りも会場に花を添えるなど、和やかな雰囲気の中、盛会裏に記念行事の一切を終了した。更に記念行事の一環として、創立60年以降の10年間の協会の歩みをまとめた「創立70周年記念誌」を編纂し、会員事業者の他、関係行政、全国のトラック協会等に配布した。

■感謝状贈呈

藤 館 憲 二 氏	（元副会長）	（株）ホクリョウ物流	取締役会長
小野寺 正太郎 氏	（前副会長）	ハツ星運輸（株）	代表取締役社長
佐 藤 耕 造 氏	（前専務理事）		

12. 要請行動等の実施

【平成30年度税制改正に係る岩手県選出国會議員に対する要望行動】

県選出の9名の国會議員に対し、平成30年度税制改正・予算要望に関する要望行動を実施した。今年度は岩手県内の各議員事務所等を以下の日程で来訪し、「平成30年度税制改正・予算に関する要望書」を提出し、トラック運送業界としての各種要望について説明し理解を求めた。なお、本人あるいは秘書の方々への伝達となったが、要望内容については具体的な回答を頂きたい旨併せて要請している。

● 主な要望項目

- ・自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現 他（税制関連）
- ・高速道路料金の更なる引下げ 他（予算関連）

● 要望行動

平成 29 年 8 月 26 日（土） 協会：高橋会長、庄子・阿部副会長、佐々木専務、亀田事務局長
・黄川田 徹
・階 猛

※民進党県連との意見交換会の席上において要望書を提出した。

平成 29 年 9 月 19 日（火） 協会：庄子副会長、佐々木専務
・鈴木 俊一 事務所（滝沢市）
・高橋 ひなこ 事務所（盛岡市）

平成 29 年 9 月 21 日（木） 協会：佐々木専務
・橋本 英教 来協（矢巾町）

平成 29 年 9 月 22 日（金） 協会：高橋会長、佐々木専務
・木戸口 英司 来協（矢巾町）
・平野 達男 事務所（盛岡市）

平成 29 年 9 月 25 日（月） 協会：佐々木専務
・小沢 一郎 事務所（奥州市）
・藤原 崇 事務所（北上市）

1.3. 研修会館の維持管理等について

(1) 研修会館の整備

本部のある総合研修会館（矢巾町）をはじめ、県内計 6 か所の研修会館を運営しているが、施設の有効保持及び有効活用のため修繕工事等を実施した。

- 総合研修会館 / 外構（門扉等）修繕工事、玄関自動ドア修繕工事
- 花巻研修会館 / 外構（汚水樹蓋）修繕工事
- 水沢研修会館 / 外構（排水柵）修繕工事
- 一関研修会館 / 床（2 階）ひび割れ修繕工事、浄化槽ポンプ修繕工事
- 二戸研修会館 / 浄化槽ブロワ修繕工事

(2) 盛岡トラックステーションの利用状況

本会では、（公財）貨物自動車運送事業振興センターからの委託を受け、盛岡トラックステーションの管理・報告事務を行っている。平成 29 年度の利用概況は次の通り。

- 年間福祉施設利用者数 13,306 人（前年 13,002 人）
- 年間トラック立寄台数 31,831 台（前年 28,552 台）

14. 表彰関係

(1) 東北運輸局長表彰 岩手運輸支局長表彰

① 東北運輸局長表彰

平成29年度東北運輸局自動車・観光関係功労者表彰式が、6月1日、ホテルメトロポリタン仙台で開催され、既に支局長表彰を受賞されている事業役員の中から、業界の発展に貢献された功績を讃え以下の通り表彰された。

事業功労の部

所 属	氏 名
ハツ星運輸（株）	小野寺 正太郎

② 東北運輸局長表彰

平成29年度運輸関係事業功労者等表彰式が、11月1日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催され、今年度も業界の発展に尽力してきた方々が以下の通り表彰された。

ア) 運転者の部

所 属	氏 名
DOWA通運（株）	樋口 弘美

イ) 安全性優良事業所表彰

事業者名	事業場名
大東運輸（株）	本 社 営 業 所

③ 岩手運輸支局長表彰

ア) 事業役員の一部

所 属	氏 名
北上運輸（株）	藤 村 秀 一
（有）大亀運輸	大 川 孝 夫
（有）一戸運輸	清 水 功
（株）正洗運輸	西 野 明 義

イ) 事業従事者の部

所 属	氏 名
東北新開（株）	菅 原 勝 江
東磐運送（株）	菅 原 浩 志
東磐運送（株）	菅 原 千 春

ウ) 運転者の部

所 属	氏 名
(株) 北岩手運輸	立 花 清 松
(株) 北岩手運輸	栃 丸 隆 義
マルヨ産業運送 (株)	横 道 信 雄
東北新開 (株)	金 野 國 雄
東北新開 (株)	吉 沢 武 美
東北新開 (株)	及 川 幸 喜
東北新開 (株)	菅 原 知 宏
共栄運輸 (株)	高 橋 辰 美
共栄運輸 (株)	神 田 勝 利
東磐運送 (株)	芳 賀 吉 弘
東磐運送 (株)	千 葉 弘 幸
共立貨物 (株)	佐 藤 比 良 夫
岩手雪運 (株)	菊 地 法 吉
岩手雪運 (株)	菊 池 拓
岩手雪運 (株)	喜 古 悦 朗
大東興運 (株)	畠 山 正 志
大東興運 (株)	佐 々 木 伝
大東興運 (株)	鈴 木 哲
大東興運 (株)	千 葉 成 市
大東興運 (株)	菅 原 健
大東興運 (株)	菅 原 正 勝

エ) 安全性優良事業所表彰

事業者名	事業場名
(有) 東北石灰運輸	本 社 営 業 所

(2) (公社) 全日本トラック協会 関係 (平成 30 年度岩ト協通常総会で表彰伝達 H30/5/23)

① 全日本トラック協会表彰規程による表彰

運転者の部

所 属	氏 名
岩手三八五流通 (株)	川 上 聰

② 第57回「正しい運転・明るい輸送運動」表彰

ア) 従業員の部

地域等	事業者名	氏名
一 関	(有) 光正運送	齋藤 秀一
岩 泉	岩泉自動車運輸(株)	田代 力

イ) 事業所・団体の部

地域等	事業者名
大船渡	(有) 高陽運送

(3) (公社) 岩手県トラック協会会長表彰 (平成29年度通常総会で表彰 H29/5/26)

① 事業役員の部

地域等	事業者名	氏名
久 慈	船渡整備工場(有)	船渡 博

② 従業員の部

地域等	事業者名	氏名
中 央	丸大運輸(株)	大和 潔
水 沢	DOWA通運(株)	福山 明

③ 運転者の部

地域等	事業者名	氏名
中 央	岩手庄子運送(株)	千葉 広美
中 央	岩手庄子運送(株)	佐藤 正幸
中 央	岩手庄子運送(株)	佐藤 明宏
中 央	(株) 北岩手運輸	平野 享子
中 央	(株) 北岩手運輸	小笠原 裕子
中 央	(株) 北岩手運輸	大館 孝雄
中 央	佐々孫運送(有)	佐々木 昭一
中 央	佐々孫運送(有)	岡村 久光
中 央	東北鉄道運輸(株) 盛岡営業所	小松 洋志
中 央	二葉運送(株)	里見 尚二
中 央	二葉運送(株)	鈴木 健児
中 央	二葉運送(株)	佐々木 俊明
中 央	(株) ホクリョウ物流	柴田 和彦
中 央	(株) ホクリョウ物流	坂本 晃
北 上	北日本重機(有)	丹治 吉次

地域等	事業者名	氏名
北上	北日本重機（有）	平野 壽 信
一 関	（株）サンライズトランスポート	小野寺 昇
一 関	（株）サンライズトランスポート	金 今 光 弘
一 関	城北運輸（有）	岩 淵 亮
一 関	城北運輸（有）	鈴 木 政 巳
一 関	東磐運送（株）	千 葉 弘 幸
一 関	東磐運送（株）	芳 賀 吉 弘
一 関	東磐運送（株）	及 川 敬 一
一 関	東磐運送（株）	佐 藤 清 貴
大船渡	岩手県南運輸（株）	千 葉 正 博
大船渡	岩手県南運輸（株）	東 利 英
大船渡	岩手県南運輸（株）	山 内 晴 夫

15. 庶務事項

(1) 通常総会、理事会の開催状況

① 平成29年度 第1回 理事会

- 日 時 平成29年4月25日（火）13：30～15：18
- 場 所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室
- 出席者 理事28名 監事3名 他
- 議 案
- ・平成28年度事業経過報告並びに決算の承認について
 - ・総会決議案の承認について
 - ・平成29年度通常総会の開催について
 - ・岩手県トラック協会長表彰 表彰者の選考について
 - ・親睦ゴルフ大会の開催について

② 第5回 通常総会

- 日 時 平成29年5月26日（金）14：40～15：45
- 場 所 ホテル紫苑 天河1
- 出席者 504社（内、委任状352通）／ 会員数635社（定足数318社）
- 議 案
- ・平成28年度事業経過報告並びに平成28年度決算の承認について
 - ・定款の一部変更について
 - ・「役員の報酬等並びに費用に関する規程」の一部改正について
 - ・任期満了に伴う新役員の選任について

※翌27日、八幡平カントリークラブ（雫石町）において親睦ゴルフコンペを開催した（48名参加）

③ 平成29年度 第2回（役員互選） 理事会

- 日 時 平成29年5月26日（金）15：50～15：58
- 場 所 ホテル紫苑 天河2

出席者 理事 30 名 監事 3 名 他
議案 ・ 会長、副会長、専務理事、常務理事の互選について

④ 平成 29 年度 第 3 回 理事会

日時 平成 29 年 8 月 28 日（月）13：30～15：15
場所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室
出席者 理事 27 名 監事 3 名 他
議案 ・ 環境クリーンキャンペーンの実施について
・ 第 9 回エコドライブコンテストの実施について
・ 広報事業の進捗状況並びに下半期の実施予定について
・ 岩ト協創立 70 周年記念行事実施（案）について
・ 三陸トラックステーション跡地売却（案）について

⑤ 平成 29 年度 第 4 回 理事会

日時 平成 29 年 11 月 16 日（木）13：30～15：30
場所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室
出席者 理事 31 名 監事 3 名 他
議案 ・ 顧問の委嘱について
・ 表彰関係の上申の取り扱いについて
・ 創立 70 周年記念行事について（進捗並びに当日の運営）

⑥ 平成 29 年度 第 5 回 理事会

日時 平成 30 年 1 月 17 日（水）14：00～15：30
場所 ホテル紫苑
出席者 理事 28 名 監事 3 名 他
議案 ・ 平成 30 年度事業計画骨子（案）及び事業資金の見通しについて

⑦ 平成 29 年度 第 6 回 理事会

日時 平成 30 年 3 月 16 日（金）13：30～15：30
場所 岩手県トラック協会 総合研修会館 大会議室
出席者 理事 28 名 監事 2 名 他
議案 ・ 平成 29 年度交付金事業の進捗と特定資産の資金造成（案）について
・ 平成 30 年度事業計画（案）並びに予算（案）の承認について
・ 健康診断（脳ドック）受診料助成事業 実施要項（案）の承認について

(2) 登記事項（役員変更登記）

① 退任事項

理事 新井山 政 信
理事 畠 本 晴 隆
理事 小野寺 正太郎

理事 宮崎善志

理事 佐藤耕造

(以上、理事5名 任期満了に伴う退任 平成29年5月26日付 / 7月4日変更登記)

代表理事 佐藤耕造

(以上、代表理事1名 任期満了に伴う退任 平成29年5月26日付 / 7月4日変更登記)

監事 黒沢公男

監事 鹿糠光雄

監事 遠藤耕平

(以上、監事3名 任期満了に伴う退任 平成29年5月26日付 / 7月4日変更登記)

② 就任事項

理事 高橋嘉信

理事 藤村秀一

理事 中平賢正

理事 庄子清信

理事 阿部祐二

理事 佐々木隆之

理事 大川孝夫

理事 安江由喜雄

理事 北舘光雄

理事 佐々木和彦

理事 佐久間啓文

理事 藤村幸雄

理事 沼倉和広

理事 渡部明

理事 伊藤久哉

理事 佐藤羊喜

理事 三浦敏

理事 松尾孝

理事 栗村安弘

理事 後藤力三

理事 佐々木久志

理事 山本博昭

理事 佐藤正巳

理事 加藤正明

理事 船渡博

理事 鈴木和三郎

理事 横濱一二三

(以上、理事 27 名 役員改選に伴う再任 平成 29 年 5 月 26 日付 7 月 4 日 変更登記)

代表理事 高橋 嘉信

(以上、代表理事 1 名 役員改選に伴う再任 平成 29 年 5 月 26 日付 7 月 4 日 変更登記)

代表理事 佐々木 隆之

(以上、代表理事 1 名 役員改選に伴う就任 平成 29 年 5 月 26 日付 7 月 4 日 変更登記)

理事 上 條 幸彦

理事 海 鋒 徹哉

理事 菅 原 良徳

理事 森 本 大三郎

(以上、理事 4 名 役員改選に伴う就任 平成 29 年 5 月 26 日付 7 月 4 日 変更登記)

監事 伊 東 浩

監事 工 藤 英康

監事 菊 池 正幸

(以上、監事 3 名 役員改選に伴う就任 平成 29 年 5 月 26 日付 7 月 4 日 変更登記)

(3) 顧問の委嘱

定款第 32 条の規定に基づき次の 4 名の方に対し顧問を委嘱した。

顧問 海 鋒 守氏 白金運輸(株)

※平成 29 年度第 4 回理事会(平成 29 年 11 月 16 日)承認事項

※委嘱期間 : 平成 29 年 9 月 1 日~平成 31 年 5 月 31 日

顧問 飯 澤 匡氏 大東貨物自動車(株) 岩手県議会議員

顧問 樋 下 正 信氏 樋下建設(株) 岩手県議会議員

顧問 中 平 均 氏 十久輸送(有) 岩手県議会議員

※平成 29 年度第 4 回理事会(平成 29 年 11 月 16 日)承認事項

※委嘱期間 : 平成 29 年 9 月 1 日~平成 31 年 5 月 31 日

(4) 会員事業者の動き

① 新規加入会員

No.	地域等	名称	代表者名	入会年月日	車両数
1	北上	(有)北上車体	及 川 強 実	H29/04/01	5
2	北上	(株)東北高速道岩手	光 野 茂 樹	H29/04/03	10
3	宮古	(有)伊藤総業	伊 藤 良 博	H29/04/10	5
4	霊柩	博英葬祭社	佐々木 博 美	H29/04/10	4
5	花巻	(株)ロジパルエクスプレス花巻営業所	近 藤 勇	H29/04/11	5

No.	地域等	名称	代表者名	入会年月日	車両数
6	中央	(有) 真栄運輸	佐々木 真 一	H29/05/01	6
7	北上	(株) 八重樫建装	平 賀 雪 雄	H29/05/01	5
8	北上	(株) 奥州物流	伊 東 努	H29/07/10	7
9	一関	(株) KS トランスポート	佐 藤 幸 和	H29/09/01	10
10	久慈	(株) BlueSky 陸運	伏 春 秀 弘	H29/10/10	5
11	北上	(株) 雄心工業	池 田 興 喜	H29/11/02	5
12	中央	小林運輸 (株)	塩 野 英 生	H29/12/01	8
13	一関	大平建設 (株)	山 崎 秀 二	H29/12/01	5
14	一関	(有) 小泉運輸関東 一関営業所	鈴 木 奨	H29/12/01	5
15	水沢	安保ロジックス (株)	安 保 博 文	H29/12/11	11
16	二戸	(有) ヤマダイ	上 村 友 一	H29/12/18	5
17	水沢	(株) 東北正栄	西 村 太 一	H30/01/16	6
18	北上	(株) K S T 東北	後 藤 光 夫	H30/02/01	5
19	花巻	(有) 多田工務店	多 田 秀 樹	H30/02/15	5
20	水沢	(有) 北栄商事 岩手営業所	高 野 政 明	H30/02/15	5
21	宮古	(株) 大一物流 宮古営業所	菅 野 修	H30/02/19	5

② 退会・休止事業者

No.	地域等	名 称	状 況	異動日
1	霊柩	(有) 翠明荘	退 会	H29/04/01
2	宮古	長谷川運送 (株)	退 会	H29/06/30
3	路線	田中産業 (株) 盛岡営業所	退 会	H30/01/31
4	水沢	共立運送 (有)	退 会	H30/02/28
5	一関	室根運輸 (株)	退 会	H30/03/31
6	二戸	(有) ヤマダイ	退 会	H30/03/31

③ 総正会員数及び登録車両数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

643 事業者 13,337 両 (最大積載量 2 t 超 11,787 両、2 t 下 1,550 両)